

広 報 誌

宇城総合だより

UKI Social medical corporation REI MEIKAI
GENERAL HOSPITAL



特 集

① リハビリテーション部の現状と展望

リハビリテーション部

- ③ ノロウイルス感染症対策
- ④ TOPIX 友の会「うきうき会」
- ⑤ 回復期リハビリテーション病棟における言語聴覚士の関わり
やすらぎ ～連携室～ / 相談をご希望の方へ
- ⑥ 外来診療医師一覧表



(ご自由に
お持ちください)

リハビリテーション部の現状と展望

私が、ご説明いたします

リハビリテーション部長

赤城 哲哉



専門は整形外科ですが、リハビリ部長職を拝命しています。以前、リハビリ専門病院として先駆けとなった水俣の湯之児病院（現在は水俣総合医療センターに統合）に長らく勤務しておりました。その当時の経験を生かしながら、当院のリハビリ部門の発展に寄与できたらと思っております。

リハビリテーションとは

リハビリテーション(Rehabilitation)とは、Re(再び)habilitate(ふさわしい・適した)ation(「状態」にする)が1つになった言葉です。本来は社会的権利・資格・名誉の回復を意味し、社会復帰・更生・療育の語が当てられていました。

最近では、身体に障害を受けた方が再び社会生活に復帰するための、総合的な治療的訓練や援助の事を指します。身体的な機能回復訓練のみにとどまらず、精神的・職業的な復帰のための援助も含み、リハビリテーション(以下リハビリ)と総称されることが多くなっています。リハビリ医療には、理学療法(PT)・作業療法(OT)・言語聴覚療法(ST)などの治療法により構成されます。

●理学療法とは

PT:Physical Therapy

理学療法では、基本動作(寝返り・起き上がり・立ち上がり・歩く)能力の回復を目的に、運動療法と物理療法を行います。

運動療法の種類はさまざまですが、関節可動域訓練・筋力トレーニング・基本動作練習・歩行訓練・階段昇降訓練・バランス練習・マッサージなどが含まれます。

物理療法とは物理的手段(温熱、寒冷、光線、水治、電気、力学)によって、痛みを和らげ、関節の動きを良くする治療法です。当院では、物理療法として、ホットパック・干渉波・低周波・牽引(頸椎・腰椎)などを行なっています。

●作業療法とは

OT:Occupational Therapy

作業療法では生活能力の獲得を目的に、作業活動を通じて障害の回復を促す練習を行います。

この練習には、リハビリ室での作業練習や、病棟での歯磨き、洗顔、着替え、トイレ動作など生活に即した練習が含まれます。また、自宅生活を想定した家事動作や和室での動作練習も行います。

患者様が安全でより良い生活が送れるよう、日常生活上必要な自助具の提案も行なっています。

●言語聴覚療法とは

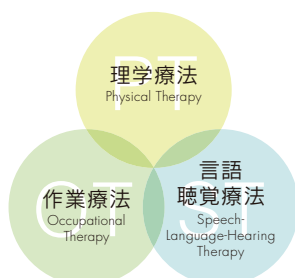
ST:Speech-Language-Hearing Therapy

略して言語療法とも呼ばれますが、コミュニケーション(話すこと・聴いて理解することなど)の障害と、摂食・嚥下機能(食べたり飲んだりすることなど)の障害に対して行なうリハビリです。

コミュニケーションのリハビリでは、発声・発音練習や、単語・文を聞いて理解する、物の名前を思い出し言葉にする練習などを行います。嚥下のリハビリでは口の中を清潔にし、咀嚼して飲み込むための運動を行ないます。

またより安全に食べられるよう姿勢や介助法、食べ物の適切な形態などの指導も行なっています。

リハビリ医療



施設基準

当院では、施設基準として脳血管リハビリテーション(Ⅰ)、運動器リハビリテーション(Ⅰ)、呼吸器リハビリテーション(Ⅰ)の承認を受けています。



スタッフ紹介

理学療法士（PT）30名、作業療法士（OT）18名、言語聴覚士（ST）7名、リハ助手（ケアワーカー）2名が在籍しており、患者様のリハビリに携わっています。特に、回復期病棟にはそのうち6名が専従（専任）スタッフとして関与し、早期からのリハビリ加療を行なっています。

また、熊本県より宇城地域リハビリテーション広域支援センターの指定を受け、専従のスタッフが宇城市と美里町の介護予防事業等にかかわり、絶え間ないリハサービスを提供しています。

対象疾患

当院でリハビリを行っている主な対象疾患は、①脳卒中その他脳疾患・脳外傷、②脊髄損傷その他脊髄疾患、③骨折およびリウ

リハビリ治療患者数の推移（平成26年度）

	入院	外来	計
4月	117	22	139
5月	159	16	175
6月	153	21	174
7月	168	22	190
8月	155	21	176
9月	148	23	171
10月	167	24	191
11月	143	22	165
12月	187	19	206
1月	176	22	198
2月	165	18	183
3月	156	20	176

マチを含む骨関節疾患、④脳性麻痺を含む小児疾患、⑤神経・筋疾患、⑥切断、⑦呼吸・循環器疾患、⑧その他（終末期リハビリ）です。

当院の病床数は204床ですが、回復期病棟（56床）と地域包括ケア病棟（50床）を中心に、ほとんどの入院患者さんに対してリハビリ加療を行なっています。

今後の展望『訪問リハビリテーション』について

訪問リハビリは利用者が可能な限り自立した日常生活を送ることができるように理学療法士や、作業療法士、言語聴覚士などが利用者の自宅を訪問し、心身機能の維持回復やADLの自立に向けたリハビリを行います。当院では長期間のリハビリ加療が可能な体制をとっており、回復期病棟には（疾患にもよりますが）原則最長180日、また地域包括ケア病棟には60日の入院が可能であります。したがって、その間のリハビリは十分できますが、退院後来院されなくなった患者さんのフォローは全くできていません。ADLが確立されずに自宅退院となった患者さんについては予後が心配されます。

当院はDPC採用の急性期病院でもありますが、地域医療支援病院としての機能も有しており、地域医療の一環として訪問リハ

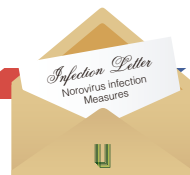
ビリの必要性を感じます。訪問リハビリが提供する意義は単に退院後の機能低下予防のみでなく、回復期リハビリに続く、在宅における機能維持のための「生活期リハビリテーション」と言えるでしょう。

当院で現在行なっている、退院前・後の自宅訪問の延長としても、訪問リハビリの実施について考える時期ではないかと思われます。

自宅訪問件数の推移（平成26年度）

	退院前	退院後
4月	11	0
5月	8	0
6月	13	0
7月	12	2
8月	10	1
9月	9	0
10月	11	0
11月	9	0
12月	9	0
1月	9	0
2月	4	0
3月	8	1
計	113	4





感染だより

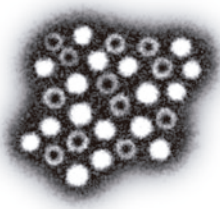
『ノロウイルス感染症対策』

こんにちは、宇城総合病院で感染管理業務を行っている、森崎です。ついこの間までのポカポカ陽気が、冬らしい季節になりました。寒くなるとインフルエンザや、ノロウイルス感染などの感染症が多くなります。そこで今日はノロウイルス感染症についてお話します。

検出感度が低いことが報告されています。このことから、国立感染症研究所は、同診断キットを用いた場合、ノロウイルスによる感染症と診断されず感染予防対策の遅れにつながる恐れがあることなどを指摘していますので十分ご注意ください。

平成27年9月30日、厚生労働省医薬食品局食品安全部監視安全課長通知「ノロウイルスによる食中毒の予防について」により、これまで検出例の少ない遺伝子型（GⅡ・17）のノロウイルスについて注意喚起がありました。国立感染症研究所によると、この秋以降発生している集団感染事例について、地方衛生研究所で検査を実施し検出されているノロウイルスのほとんどがGⅡ・17であり、今シーズンの主流となる見通しとしており、流行が拡大する可能性があります。加えて、ノロウイルスGⅡ・17については、これまでの流行の主体であったノロウイルスGⅡ・4と比較して、現在市

中で使用されているノロウイルス迅速診断検査キット（ICキット）による



▲GⅡ.17 イメージ図

ただ、新しい遺伝子型のノロウイルス感染症も原因や症状、感染対策は同じです。ノロウイルスは手指や食品などを介して、口から体内に入ることによって感染し、腸の中で増殖し、おう吐、下痢、腹痛などを起こします。ノロウイルスに汚染された二枚貝などの食品を十分加熱しないまま食べたりして感染するほか、ノロウイルスに感染した人の手やつば、ふん便、おう吐物などを介して、二次感染するケースもあります。

ノロウイルス感染の予防法は、ノロウイルスを「**持ち込まない**」「**広げない**」「**つけない**」「**やつける**」の4つのことが原則になります。

持ち込まない 健康状態の把握・管理！

ウイルスに感染しないことが一番ですが、感染したら、仕事を休む「仕事場にウイルスを持ち込まない」、調理をしない「調理場にウイルスを持ち込まない」ことが重要です。その為

には日頃から健康管理や健康状態の把握を行い、おう吐や下痢の症状がある場合などは仕事や調理を行わないようにしましょう。

広げない 手洗い、定期的な消毒・清掃！

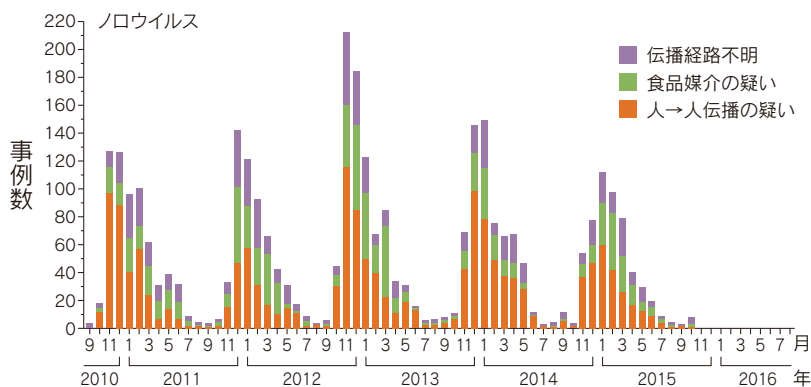
万が一、ウイルスが職場や調理場内に持ち込まれても、それが物や食品に付着しなければ食中毒に至ることはありません。こまめな手洗いを行いましょう。ドアノブや手すりなどの何回も手が触れる所は消毒剤（できれば0.02%次亜塩素酸ナトリウム）で1日複数回拭き取りましょう。また、ふきんやまな板、包丁などの調理器具は、洗剤でよく洗った後、熱湯消毒を定期的に行いましょう。

つけない 洗う！分ける！

ウイルスを物や食べ物に付けないように、トイレの後・オムツ交換の後・調理の前・食卓に着く前は、必ず手を洗いましょう。手に付着した細菌やウイルスは、水で洗うだけでは取り除けません。石けんを使って十分に泡だて、指の間、指先、爪の間、手首を洗いましょう。特に親指は洗い残しが多く念入りに洗って下さい。洗い終わったら十分に水で洗い流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。



推定伝播経路別ノロウイルス感染集団発生の月別推移、2010/11…2015/16シーズン
 集団発生病原体票での報告(病原微生物検出情報:2015年11月18日現在報告数)



参考資料 厚生労働省/感染性胃腸炎について 国立感染症研究所/感染性胃腸炎発生状況
 政府広報オンライン/冬の感染症にご注意 インフルエンザ&ノロウイルス特集

ほとんどの細菌やウイルスは加熱によって死滅しますので、肉や魚はもちろん、野菜なども加熱して食べれば安全です。特に二枚貝や肉料理は中心までよく加熱することが大事です。中心部を90℃で1分以上加熱することが目安になります。手洗いなどはインフルエンザ予防にも役立ちますので、冬場の感染対策に生かしてください。

(感染管理認定看護師 森崎清司)

やっつける
 加熱処理！



糖尿病友の会「うきうき会」

糖尿病友の会「うきうき会」は発足して約9年になります。会員数も徐々に増え、現在は総数39名で活動を行っています。今年も、会長の吉田さんが中心となって日帰り旅行を企画し、皆で行ってきました。

行ってきました!!

早朝に当院を出発し、向かったのは荒尾市にある万田抗。今年、世界遺産に登録されたことでも有名です。案内のスタッフの方が丁寧にわかりやすく説明してくださり、患者さんも熱心に聞き入っていました。次に訪れたのは同じく荒尾市にある宮崎兄弟資料館。宮崎兄弟や孫文に関する資料がたくさんあり、勉強になりました。

小腹も空いてきたところで、河内で梨狩りを楽しみました。収穫した梨を皆でおいしく頂きました。天候にも恵まれ、とても楽しいバス旅行でした。

血糖値が気になるから
 この辺でやめようかしら…。



万田抗の建物の中はヘルメットをかぶっての見学。皆さん真剣です。



宮崎兄弟資料館では、生家のかやぶき屋根のふき替え工事が終わったばかりで、とてもきれいでした。



甘くておいしい梨に皆さんご満悦な様子。

(管理栄養士 北原麻希子)



回復期 リハビリテーション病棟 における言語聴覚士の関わり



当院のリハビリテーション部には、理学療法科、作業療法科、言語聴覚療法科の3科があります。今回は、言語聴覚療法科についてご紹介いたします。言語聴覚療法科には現在7名の言語聴覚士が在籍し、成人から小児まで幅広く言語聴覚療法を展開しています。言語聴覚療法の1つとして、摂食・嚥下リハビリテーションがあります。当院の回復期リハビリテーション病棟では、言語聴覚士が昼食や夕食の食事時間に介入し、食事形態の決定や食事摂取時の姿勢の調整、安全な摂取方法の指導などを行っています。言語聴覚士が食事時間に介入することで、義歯が適合して

いるか、自歯がどれくらい残っているかなど咀嚼能力を判断し、1口大カットが良い、トロミの段階はもう一段階上げた方がよい等、細かい問題がタイムリーに解決できます。看護師やケアワーカーとの良い情報交換の場でもありチーム医療の一助となっています。また、必要に応じて回復期リハビリテーション病棟以外の病棟でも同様に食事評価や嚥下評価を行っています。

摂食・嚥下リハビリテーションにおきましては、経口摂取が可能であるかどうかの定期的な評価がとても重要です。一度の評価だけで予後を決めるのではなく、定期的に状態を観察しながら経口摂取の可能性を見極められるよう日々努力して行きたいと思います。

(言語聴覚士 小田実穂子)

『やすらぎ』

（連携室）

35号

■ 第一九回 地域連携会 ■

平成二十七年一〇月二〇日（火）に第一九回地域連携会をウイング松橋（文化ホール）で開催しました。当会は、地域連携に関する啓発、研修及び情報の収集・提供を目的として実施しております。

今回は情報提供として、初めに江上院長より「地域医療支援病院」と題し、当院の開院から現在に至るまでの病院紹介がありました。次に地域医療連携室の石井副主任より「下益城郡医師会 在宅医療連携拠点事業について」カナミックシステムとは」と題し、情報共有システムについて説明を行いました。

講演会では、竹田副院長より「高齢者糖尿病の治療とケア」の演題で、総論から治療法、合併症の注意点、高齢者特有の問題まで幅広い内容の講演を行いました。

参加者は、院外の医療・介護の八七機関から一七二名、院内一〇五名の合計二七六名と多数の方の参加がありました。

これから地域連携会開催を重ねながら地域住民の方や医療機関、施設、居宅介護支援事業所や訪問看護事業所等の皆様と連携を深めてまいりたいと考えています。今後も地域の関係機関の方々のご参加を賜りますようお願い申し上げます。

（社会福祉士 永吉渚）



相談を
ご希望の方へ

担当医や看護師に申し出ていただくか、
直接「医療福祉相談室（地域医療連携室）」にお越し下さい。
※事前に電話などで面接のご予約をしていただくことも
出来ます。また、電話でのご相談もお受けいたします。



医療福祉相談室（地域医療連携室）

TEL/0964-32-3218（直通） 0964-32-3111（代表）

○時間：日・祝日を除く、月曜日～土曜日8:30～17:30 ○場所：1階（外来30番受付斜め前）

地域連携会の様子



外来診療医師一覧表

受付時間／8:30～12:00

診 療 科			月	火	水	木	金	土	
外 科		午前	新来	多森靖洋	前田健晴	栗崎貴	栗崎貴	井上耕太郎	担当医 救急対応
		再来	多森靖洋	前田健晴	担当医	栗崎貴	井上耕太郎		
		午後	担当医	多森靖洋	前田健晴	栗崎貴	栗崎貴	井上耕太郎	
内 科	消化器内科	午前	新来	宮本久督	小山田直朗	宮本久督	宮本久督/小山田直朗	小山田直朗	
		再来	宮本久督	小山田直朗	宮本久督	宮本久督/小山田直朗	小山田直朗		
	呼吸器内科	午前	新来	福田秀明	福田秀明	米良昭彦	—	福田秀明	
		再来	福田秀明	福田秀明	米良昭彦	—	福田秀明		
	循環器内科	午前	新来	神波やよい	盛三千孝	泉家康宏(非)	老松 優(非)	神波やよい	
		再来	神波やよい	盛三千孝	泉家康宏(非)	老松 優(非)	神波やよい		
	神経内科	午前	新来	—	—	俵 望(非)	—	—	
		再来	—	—	俵 望(非)	—	—		
	内科	午後	担当医	宮本久督	盛三千孝	神波やよい	蛭原賢司	福田秀明	
	整形外科*	午前	新来	山城和馬	担当医	大多和聡	藤枝浩司(非)	赤城哲哉	
			再来	山城和馬	担当医	大多和聡	藤枝浩司(非)	赤城哲哉	
		午後	担当医	山城和馬	担当医	大多和聡	藤枝浩司(非)	赤城哲哉	
小 児 科	午前	新来	板井義男	板井義男	板井義男	板井義男	板井義男		
		再来	板井義男	板井義男	板井義男	板井義男	板井義男		
	午後	担当医	板井義男	板井義男	板井義男	板井義男	板井義男		
総合診療科	午前	新来	竹田晴生	江上寛	竹田晴生	松田貞士	竹田晴生		
		再来	竹田晴生	江上寛	竹田晴生/松田貞士	松田貞士	竹田晴生		
麻酔科(ペインクリニック) ※受付時間／(月) 10:00～11:30 (水)(金) 8:30～11:30	午前	新来	井 賢治	—	荒川和也	—	荒川和也		
		再来	井 賢治	—	荒川和也	—	荒川和也		
泌尿器科 ※受付時間／8:30～11:30			中村武利	—	—	中村武利	—		
放射線科		読影担当医	前田陽夫	前田陽夫	前田陽夫	前田陽夫	前田陽夫	—	
リハビリ科 ※受付時間／9:00～10:00			井 賢治	赤城哲哉	中野章	赤城哲哉	中野章	—	
救命救急センター	外 科 系		栗崎貴	松田貞士	前田健晴	井上耕太郎	多森靖洋	担当医 救急対応	
	内 科 系		福田秀明	小山田直朗	宮本久督	福田秀明	小山田直朗		
	整形外科系		山城和馬	担当医	大多和聡	藤枝浩司(非)	赤城哲哉		
糖尿病センター			竹田晴生/蛭原賢司	竹田晴生	竹田晴生/蛭原賢司	竹田晴生	竹田晴生/蛭原賢司		
腎透析センター		～15時	盛三千孝	中村武利	盛三千孝	盛三千孝	中村武利	盛三千孝 又は 中村武利	
		15時～	盛三千孝	—	盛三千孝	—	中村武利	—	
リハビリテーション センター		午 前	《受付時間》 9:00～11:30					—	
		午 後	《受付時間》 13:30～15:30						
健診センター		担当医 予約制	並川和男(非)	蛭原賢司	神波やよい	蛭原賢司	並川和男(非)	—	

*診察には「紹介状」が必要です。(紹介状がない場合は、選定療養費として2,000円が必要となります。) ※(非):非常勤医師 平成27年12月1日更新



外来初診時は紹介状(診療情報提供書)が必要です

平成26年4月1日をもって増床により200床以上の医療機関へ移行しました。これに伴い、外来初診時は紹介状が必要となりました。つきましては、他の保険医療機関等からの紹介状がなく、当院に直接来院される患者さんについては、初診に係る費用として2,000円をお支払い頂くこととなりましたので、何卒ご理解下さいませようお願いいたします。



整形外科外来は完全紹介型です

整形外科外来は、平成26年9月1日より完全紹介型へ移行しました。初めて整形外科外来を受診される際、紹介状がない場合は診察ができません。必ず紹介状をご持参くださいませようお願いいたします。

※ただし、緊急その他やむを得ない事情により、他の医療機関からの紹介によらず来院した場合にあってはこの限りではありません。

宇城総合だより 2015年秋号の訂正について／病院食レシピの主食の表記に誤りがございました。 誤「米 160g」→ 正「ご飯 80g」

平成27年度 理念・基本方針

《 理 念 》

・私たちは信頼される医療をととして地域に貢献します

《 基本方針 》

- ・良質で安全な医療を実践します
- ・診療機能の充実を図り 地域のニーズに応えます
- ・接遇の向上に努め 快適な受療環境を提供します
- ・情報を公開し 公正な管理運営を行います
- ・勤務環境を改善し 魅力ある職場をつくります



社会医療法人 黎明会

宇城総合病院

URL <http://www.reimeikai.jp/>

〒869-0532 熊本県宇城市松橋町久具691

Tel.0964-32-3111 Fax.0964-32-3112



日本医療機能評価機構
認定番号JC943号